スペシャルドラマ「坂の上の雲」の放送開始で観光客の入込も本格化

『坂の上の雲』のまち松山」をレトロ調バスで巡る

浴衣で路面電車がフリー乗車できる（旅行会社企画商品対象）

11月29日からNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」の放送が始まった。松山市出身の秋山好古・真之兄弟と俳人の正岡子規の3人を中心に激動の明治時代を描く。松山市では「『坂の上の雲』のまち松山」として様々な取り組みを行っている。今回はドラマ放送に先駆けて10月から始まっている定期観光バスとイベントを紹介する。

明治体感まつやま博

スペシャルドラマ放送に合わせて、11月29日から松山市内では「明治体感まつやま博」が開催されている。同日には、坂の上の雲ミュージアムでオープニングイベントとして、ドラマで乃木希典の妻（静子役）で出演中の真野響子さんを招いて「朗読会&トークショー」を開催した。

また、同ミュージアムは来年2月21日まで関連イベントとして香川照之（正岡子規役）さんの自筆サイン、海軍軍人・広瀬武夫のパスポート（複製）を展示。さらに番組パネル展も催され、番組パネル、衣装5点、小道具も5点程度展示されている。

萬翠荘では、スペシャルイベントとして「日露戦争～ロシア兵俘虜が見た明治松山」を2月下旬まで開催。松山の人々とロシア兵捕虜の双方の視点で見た当時の松山をパネルや映像で振り返る。

レトロなバスが人気

まつやまマドンナバスは、レトロなボンネットバスの「マドンナバス」で、松山市内の観光スポットをめぐる定期観光バス。午前と午後の1日2便運行で、コースは大街道をスタートし、道後温泉駅を経由して、四国八十八カ所の第51番札所の石手寺、道後温泉本館又新殿、秋山兄弟生誕地、松山城周辺をドライブして松山城ロープウェイ前、道後温泉駅に到着する。

昼食はロープウェイ前エリアの瀬戸内料理東雲の「かつやま膳」か、道後温泉エリアのすし丸で、ドラマにも登場する「もぶり飯」から選べる。料金は昼食付きが大人2700円。小人は1850円。午後からの便は、食事なしで、大人が1700円。小人が850円。マドンナバスは2台あり、原則定員は合計30人。完全予約制で席の指定はできない。車両の故障などの場合は観光バスタイプでの運行となる。

浴衣で松山市内へ

特別キャンペーンとして道後温泉の宿泊客へは「浴衣で夜の松山へ！」を、市内のホテル宿泊客へは「ちょっと湯っくり道後へ！」が展開されている。ともに旅行会社の企画するパンフレットで申し込んだ観光客が対象で、浴衣着用か宿泊施設に置いてるチケットを利用すると夕方5時以降の市内の路面電車が無料。

道後温泉に泊まっていても、路面電車で15分ほどで、市内中心部の大街道で食事やショッピング、松山市駅の大観覧車からの夜景など松山の都市観光が楽しめる。市内のホテルに泊まっていても、気軽に日本三古泉の道後温泉や道後温泉エリアの観光も楽しめる。旅行会社のパンフレットでも掲載が多いヒット企画になっている。

まつやまの「食」をアピール

これまで「食」のイメージが弱かった松山にストーリー性を持たせた2つのメニューが登場。

もぶり飯（松山鮓）は、ドラマにも登場する。松山では、昔から祝い事や訪問客をもてなす際に「ちらし寿司」をつくる慣わしがあり、瀬戸の小魚をちりばめた「もぶり飯」はその中で最高のもてなしだった。

活き鯛飯は新鮮な鯛の身を三枚におろし、しょうゆ、みりん、たまご、ごま、出し汁で調味したタレに漬け込んで、そのタレごと熱いご飯にかけて食べる。ネーミングは松山に「行きたい」と掛かっている。

レトロ調なマドンナバスを使った定期観光バス

人気を集める秋山兄弟生誕地

市内のホテルから道後温泉本館へ

道後温泉から市内中心部の大街道へ

問い合わせ先
松山市観光産業振興課
事務代行
株式会社観光販売システムズ
TEL052-589-0200

店頭用のＰＯＰ類も充実

郷土料理のもぶり飯（松山鮓）

活き鯛飯